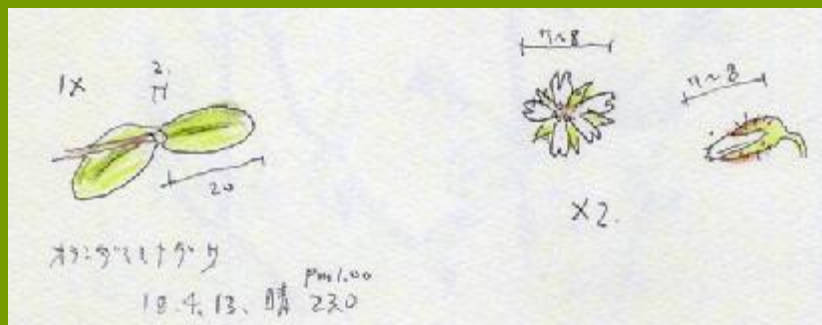


見ぬま田んぼ・野草スケッチ「オランダミミグサ」

別名（鼠の耳、仏の耳）

分類： ナデシコ科
属名： ミミナグサ属
花言葉： 純真無邪気可憐な



春から夏にかけて田畑や道ばたに生い茂っていて、ハコベと白い小さな花沢山咲いていて見間違いそうですが、総体的に毛が生えていて薄茶が緑の上にかかっていますので見分けがつかず



「オランダミミグサ」	
世界：	明治末年に横浜市で発見された。原産地はヨーロッパ。
生育地：	畑、道端などに生え越年草。北海道～沖縄に分布している。
茎 丈：	10～30cm 根わきから分枝して株立ちになる。普通緑色している。
葉：	対生し卵の形をしている。長さ5～25mm幅2～10mm。模様無し。
花期：	4月～5月
花・花色：	花柄は萼より短く殆ど茎に接して咲く。
種子：果実	蒴果は円柱形、約8mm
特徴：	葉がネズミの耳に似ているので。若苗が食用になるので耳菜草とつけた。全体に毛が多く花序が密
由来	オランダ原産ということではなく、ヨーロッパ原産なので異国のものという意味でオランダと名が付いた。
<p>表の記事と写真は、「和蘭耳菜草」のサイトより使わせて頂きました。 ウィキペディアと写真ACへようこそ！より。 19.10.5 イアより</p>	